



今月の一品『もちもち野菜ドーナツ』

材料 (4個分)

野菜ジュース	125cc
白玉粉	100g
薄力粉	50g
粉チーズ	15g
塩	3g(小さじ1/2)
オリーブ油	15g

つくり方

- 材料を全部ボウルに入れて混ぜ、よく手でこねる。
- たねを4等分し、それぞれ7個の玉に丸めて輪に並べ、180℃のオーブンで10~15分程度焼く。



「白玉粉」って何?



白玉粉とは、精白したもち米を水洗いした後に、石臼で水ごとすり潰した際に出てくる沈殿物を乾燥させたもののことです。

白玉粉の特徴

もち米でのんぶん質を取り出したものなので粒子が細かく表面がつるつるしているので、舌触りが滑らかになります。他にも冷たくなっても固くならないのが特徴です。この特徴をいかして白玉だんごや大福などによく使われています。

グルテンアレルギーの方にも!

白玉粉は小麦が含まれていないため、グルテンアレルギーの方にもオススメです。クレープの生地と混ぜると卵なしでもふっくらとおいしい生地ができるほか、パン、お菓子、麺類も作ることができます。幅広く対応できる材料なのでぜひ献立に取り入れてみてくださいね。(監修:管理栄養士 飛山晴子)

もちもち 野菜ドーナツ



編集後記

特集でご紹介のように、4月から当院の看護師ユニフォームが変わりました。感染対策や機能面などの理由から、ナースキャップと同様に看護師の象徴である「白衣」も姿を消しつつあります。しかし思いは変わりません。落合病院のユニフォームを着て働きたいと思つていただけます。しかし、質の高い看護の提供に努めています。

(編集委員)

糖尿病外来

Vol.26

今回のテーマ
『糖尿病性腎症
ってなあに?』
Part.1

糖尿病性腎症

網膜症や神経障害とともに、糖尿病の3大合併症と呼ばれています。

「腎臓」とは

腎臓は「そら豆」に似た形の臓器で、左右にひとつずつあり、大人の握りこぶしほどの大きさです。

腎臓の5つの役割

- 老廃物を体の外に排泄する
- 血圧を調整する
- 骨を強くする
- 体液量やイオンバランスを調整する
- 血液をつくる指示を出す

糖尿病性腎症になると、血液をきれいにする機能が低下します。

腎臓には「糸球体」という毛細血管が集まった組織が左右合わせて200万個あり、血液をふるいにかけて老廃物を取り除き、きれいにします。糖尿病性腎症になると、糸球体の機能が低下して、老廃物だけでなく、必要なたんぱく質も排泄されてしまいます。

腎症が進むと糸球体が減少します。糖尿病性腎症が進行すると糸球体が傷ついて減少し、老廃物が出にくくなります。

糖尿病性腎症は、第1期から第5期まで。早期治療が大切です。

第1期 腎症前期
自覚症状がほとんどない
血糖コントロールで腎症を予防

第2期 アルブミン尿が始める
アルブミン尿(たんぱく尿)増加
第3期 顕性腎症期
アルブミン尿(たんぱく尿)増加
腎機能が徐々に低下
より厳格なコントロール

第4期 腎不全期
腎機能が著しく低下
透析への準備が必要です

第5期 透析療法期
透析療法や腎移植など

予防 適切な治療でもとの腎臓に戻す

腎機能 (0~100)
アルブミン尿 (0~100)
尿中アルブミン (0~300)

次回は「糖尿病性腎症ってなあに? Part.2」です。お楽しみに。